

「障がいを理解するための実践教室」実施要領 資料①

1 目的

障がいのある方や、お年寄り等さまざまな人が暮らしている地域社会で、「ともに生きる」明るい社会をみんなの手で守りつづけることが、大切です。

そのため、この教室は、児童・生徒が障がいのある方との交流の中で、福祉との関わりを日常的な実践活動へと広げていく契機とすることを目的とします。

2 対象 豊田市内の実施を希望する小・中・高等学校

3 実施期間 令和8年6月～令和9年2月

4 実施時間

(1)開始時間は午前10時30分以降とします。

(2)体験の時間数は学年・参加人数・実施内容に合わせて設定することができます。

5 実施内容

(1)障がい等の理解を深めるために、以下の内容などを取り入れてください。

①障がいのある方等の話を直接聞く

②障がいのある方等の地域での生活にふれる

(2)講師の方と多くふれあう時間が持てるように、実施内容によっては、参加者の人数が制限されます。

(「実施上の留意点(別紙1)」を参考)

(3)【体験内容の例】

内 容	科 目
肢体不自由について	車いす体験
	多様性を理解する交流プログラム
視覚障がいについて	点字体験
	盲導犬
	アイマスク体験・自助具紹介
聴覚障がいについて	手話体験
	書いて伝える体験(要約筆記・筆談)
発達障がいについて	発達障がいと自閉症についての理解
知的障がいについて	ダウン症についての理解
高齢者について	高齢者擬似体験
福祉に関する講話	ボランティア・福祉について
	ユニバーサルデザインについて 等
その他希望する科目	講師とのふれあい交流(給食を一緒に食べる、レクリエーションを一緒に行うなど)

6 実施場所

学校(教室、体育館、グラウンド等)又は学校が指定する場所。

7 申請と報告

(1) 申込み

以下の URL または QR コードからログインし、申込みを行ってください。
※豊田市社会福祉協議会 ぼらんていあ広場 HP より、実践教室のページ下部、要領・申込みの欄に同じ URL が載っています。



<https://x.gd/14Jib>

(1 日当たりの開催校は原則 1 校とし、先着で受付をします。)

※詳しい申込み方法については、別紙 4 「障がいを理解するための実践教室 手引書」をご確認下さい。

(2) 報告

実践教室開催後 1 ヶ月以内に、以下の URL または QR コードから回答して下さい。

※豊田市社会福祉協議会 ぼらんていあ広場 HP より、実践教室のページ下部、報告書の欄に同じ URL が載っています。

<https://x.gd/i64IY>



※1 科目につき、1 回、ご回答下さい。

8 開催費用

この事業に関する講師の実費弁償費・タクシー代は、豊田市社会福祉協議会が負担します。
そのほか、授業に必要な資料の印刷等は学校で準備をお願いします。

9 その他

手続き及び詳細については、「障がいを理解するための実践教室のすすめ方 (別紙 3)」を参考にしてください。

10 問合せ・申込み

地区	問 合 せ 先	電 話	F A X
挙母	豊田市社会福祉協議会 つながり応援課	31-1294	33-2346
上郷			
猿投			
高岡			
高橋・ 松平			
藤岡・ 藤岡南	豊田市社会福祉協議会 藤岡支所 地域福祉担当	76-3606	76-3608
小原	豊田市社会福祉協議会 小原支所 地域福祉担当	65-3350	65-3705
足助	豊田市社会福祉協議会 足助支所 地域福祉担当	62-1857	61-1115
下山	豊田市社会福祉協議会 下山支所 地域福祉担当	90-4005	90-2419
旭	豊田市社会福祉協議会 旭支所 地域福祉担当	68-3890	68-2801
稲武	豊田市社会福祉協議会 稲武支所 地域福祉担当	82-2068	82-3604

「障がいを理解するための実践教室」実施上の留意点 (別紙1)

●共通事項

- 当日の日程及び実施内容に変更がある場合は、至急ご連絡ください。
- 講師の連絡先は、本会と打合せした際にお伝えします。
- 先生から講師へ事前に連絡し、実施内容及び体験コース等の打合せをしてください。
※高齢者擬似体験のみ、体験コースの下見のため、講師が学校へ直接伺います。
※社協との打合せ後、速やかに実施をお願いします。
- 授業参観日や学校公開日など通常授業と異なる場合は事前に講師にお伝えください。
- 実施中の様子を撮影する場合、前もって講師に使用目的を説明し、撮影の可否を確認してください。
※安全面の観点から、写真撮影を行う先生と実践教室をお手伝いして下さる先生を分担してください。
- 講師用（人数分）の駐車場確保にご協力をお願いします。
- 当日までに教員・職員の方に対して実施の周知をお願いします。

●車いす体験

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 時間は、2時限枠（90分）以上で計画してください。 講師は、車いす利用者、介助者です。 2時限枠で無理なくできる児童・生徒の人数・講師の人数については以下の通りです。 <table border="1" data-bbox="272 244 1453 414"> <thead> <tr> <th>児童・生徒人数</th> <th>班数</th> <th>講師・介助者人数</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35人未満</td> <td>1</td> <td>1名・3名</td> <td>・全学年で実施の場合は要相談</td> </tr> <tr> <td>36人以上</td> <td>2</td> <td>2名・3名</td> <td>・講話、体験で班を分け、2クール制 ・体験場所とは別に講話の部屋を用意</td> </tr> </tbody> </table> <p>※100人以上は要相談。人数を分けて実施日を複数設定する場合があります。</p>	児童・生徒人数	班数	講師・介助者人数	その他	35人未満	1	1名・3名	・全学年で実施の場合は要相談	36人以上	2	2名・3名	・講話、体験で班を分け、2クール制 ・体験場所とは別に講話の部屋を用意
児童・生徒人数	班数	講師・介助者人数	その他										
35人未満	1	1名・3名	・全学年で実施の場合は要相談										
36人以上	2	2名・3名	・講話、体験で班を分け、2クール制 ・体験場所とは別に講話の部屋を用意										
<p>留意点</p>	<p>実施前</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いすと段差板を（福祉センターもしくは障がい者福祉会館にて）借用し、授業開始のチャイムより前に、体育館への車いすの搬入、段差板の設置をしてください。開始時間までに準備ができていないと、車いす体験の時間が短くなってしまいう可能性があります。 <p>車いす体験</p> <p>車いす体験は基本的に2人1組で実施します。（3人1組のグループで行う場合、1人が車いすに乗る体験者、1人が車いすを押す介助者という形は崩さないように事前指導をお願いします。2人で車いすを押す介助を行うと、不安定になるため大変危険です。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験コースは校舎内（廊下、昇降口、段差のない手洗い場など）も利用できるようなコース設定をしてください。 車いす体験コースが他の授業の活動等と重ならないように、また車いす体験中は体育館に他学年が入らないように配慮してください。 コース設定で室内外を行き来する場合でも、靴をかえることがないようにしてください。 体験中は他学年等が体育館へ入らないように配慮してください。 講義当日、講師がコースの下見で校内を移動しますので配慮してください。 車いす体験中、児童・生徒に声掛けをする場合は、講師の説明に沿った内容でお願いします。 												
<p>物品</p>	<ul style="list-style-type: none"> 車いす体験 <input type="checkbox"/> 車いす（<input type="checkbox"/>台） <input type="checkbox"/> 段差板 <input type="checkbox"/> 軽トラ（車いすと段差板運搬用） <p>※当日に使用する車いすと段差板（8枚）の借用と返却。貸出場所は豊田市福祉センター、障がい者福祉会館の2箇所あります。障がい者福祉会館での貸し出しの場合、①ブレーキがしっかりかかる、②フットレスト、座席が安定している、③ハンドルがぐらついていない、車いすを選んでいただき、運搬して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いす講話 <input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> プロジェクター <p>※学校によっては必要物品が異なる場合がある為、講師との打ち合わせ時にご確認ください。</p> <p>※社協との打ち合わせで、車いす体験コースを先生と共に設定させていただきます。学校にある車いすを1台ご用意ください。学校に車いすが無い場合は、その旨を社協までご連絡下さい。</p>												
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講師と講話内容や体験コース、車いすの使用台数を打ち合わせてください。 <p>先生から講師へ『資料④-1車いす体験・講話についての調整票・車いす体験調整票』と『車いす体験コースの案内』をお送りください。メールを送った後、講師の方から電話またはメールが来ますので、打合せしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師・介助者が体験コースの1・2か所につきますが、目の行き届かない箇所がありますので、先生方のご協力が必要です。体験コース中の必要人数・配置を講師の方と打ち合わせてください。 児童・生徒からの質問が事前に分かる場合は、事前にデータで質問をお伝えください。 実践教室終了後、児童・生徒から講師へ質問等があれば、質問内容を記入していただき、講師へお渡しください。後日講師からご連絡いたします。 												
<p>事前/事後 学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に事前学習の必要はありません。何の事前知識もなく受けていただきたいです。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふつう」とは何かを考えてみましょう。例えば、自分が困った経験を思い出してみてください。車いすの人だけが不便なのではなく、誰にでも困る場面があることに気づきながら、みんなで話し合ってみましょう。 												

●多様性を知る交流プログラム（車いす）

<p>日時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間は、2時限枠（90分）以上を4日間行います。 1日目：車いす体験・講話 2日目：風船バレー 3日目：共感を育む講話 4日目：2回目の風船バレー ※学びの繋がりをもたせるため、1日目から3日目までは2週間以内での実施とします。 ※ルール検討や準備期間を要するため、3日目と4日目の間は1週間以上の間隔とします。 ・ 車いす利用者の講師が全日同じクラスと関わります。
<p>物品</p>	<p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いす体験 <input type="checkbox"/> 車いす（ 台） <input type="checkbox"/> 段差板 <input type="checkbox"/> 軽トラ（車いすと段差板運搬用） <p>※当日に使用する車いすと段差板（4枚または8枚）の借用と返却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いす講話 <input type="checkbox"/> パソコンもしくはタブレット <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 風船 <input type="checkbox"/> ビニールテープ <input type="checkbox"/> コーン（6個／1コートにつき） <input type="checkbox"/> タイマー <input type="checkbox"/> 対戦表（A1） <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> パソコンもしくはタブレット <input type="checkbox"/> プロジェクター <p>4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 風船 <input type="checkbox"/> ビニールテープ <input type="checkbox"/> コーン（6個／1コートにつき） <input type="checkbox"/> タイマー <input type="checkbox"/> 対戦表（A1）
<p>各当日迎えるまでの準備事項や留意点</p>	<p>1日目実施前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすと段差板を（福祉センターもしくは障がい者福祉会館にて）借用し、授業開始のチャイムより前に、体育館へ車いすの搬入、段差板の設置をしてください。開始時間までに準備ができていないと、車いす体験の時間が短くなってしまう可能性があります。 <p>1日目</p> <p>●車いす体験</p> <p>車いす体験は基本的に2人1組で実施します。（3人1組のグループで行う場合、1人が車いすに乗る体験者、1人が車いすを押す介助者という形は崩さないように事前指導をお願いします。2人で車いすを押す介助を行うと、不安定になるため大変危険です。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験コースは校舎内（廊下、昇降口、段差のない手洗い場など）も利用できるようなコース設定をしてください。 ・ 車いす体験コースが他の授業の活動等と重ならないように、また車いす体験中は体育館に他学年が入らないように配慮してください。 ・ コース設定で室内外を行き来する場合でも、靴をかえることがないようにしてください。 ・ 体験中は他学年等が体育館へ入らないように配慮してください。 ・ 講義当日、講師がコースの下見で校内を移動しますので配慮してください。 ・ 車いす体験中、児童・生徒に声掛けをする場合は、講師の説明に沿った内容をお願いします。 <p>●車いす講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンやプロジェクター等の準備をお願いします。（講師によって使用しない場合あり） <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館等の広い会場を用意してください。 ・ 風船バレーのコートの準備をお願いします。 <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンやプロジェクター等の準備をお願いします。 <p>3日目と4日目の間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3日目の授業内でのルールが決まりきらなかった場合、クラス内で検討します。 <p>4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2日目と同様。
<p>講師 打合せ</p>	<p>【申込後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施前に先生、講師、社協と打合せを行い、全体の流れの共有をします。（zoomでも可） ・ 3者での打合せが終了後、『資料④-1 車いす体験・講話についての調整票・車いす体験調整票』と『車いす体験コースの案』の作成をお願いします。 <p>【1日目を迎える前に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生から講師へ『資料④-1 車いす体験・講話についての調整票・車いす体験調整票』と『車い

す体験コースの案』をお送りください。

- 講師・介助者が体験コースの 1・2 か所につきますが、目の行き届かない箇所がありますので、先生方のご協力が必要です。体験コース中の必要人数・配置を講師の方と打ち合わせてください。
- 生徒からの質問が事前に分かる場合は、事前にデータで質問をお伝えください。
- 実践教室終了後、生徒から講師へ質問等があれば、質問内容を記入していただき、講師へお渡しください。後日講師からご連絡いたします。

【2日目、3日目】特になし

【4日目を迎えるにあたり】

考えたルールに不安な部分等がありましたら、講師へ確認をお願いします。

●点字体験

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間は、45分以上で計画してください。 <p>※45分で伝えられることは限りがあるため、90分での授業をお勧めします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人数は、40人以内で計画してください。（複数クラスでの実施の場合、1クラスにつき1講師で設定してください。） ・ 講師は視覚障がい者1名、点訳者1名の計2名です。
<p>留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒が視覚障がい者の講師と接する際には声かけをするように促してください。 ・ 先生が児童・生徒に事前に点字の打ち方を指導するのはご遠慮ください。 ・ 冬場は手がかじかみ講師が点字を読みづらくなるため、可能であれば教室は温めてください。 ・ 講師の送迎時、タクシーの運転手が学校の門を開け閉めするため、ご了承ください。 ・ タクシーが停まる場所は、コーンを置く等して分かりやすくしてください。
<p>物品</p>	<p>□ 点字機材（①点字練習器、②点字用紙、③A0サイズの点字の早見表、④授業で使用する資料（やさしさはほっとする））借用と返却</p> <p>※<u>体験時間が始まる前の休み時間に、①②を机の上に置き、③を黒板に貼付け、④は児童・生徒に印刷した状態で配布し、授業がすぐに始められるようにしてください。</u></p> <p>※点字練習機は壊れやすいため、丁寧に扱ってください。</p> <p>□ 黒板又はホワイトボード □ 講師：机とイス（児童・生徒と同じもの）、点訳者：椅子</p>
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数クラスで実施する場合、事前に先生間で打合せ内容を統一した上でご連絡ください。 ・ 希望する講話内容をお伝えください。 ・ 点字で打ちたい内容の希望がありましたらお伝えください。 ・ 実践教室終了後、児童・生徒から講師への質問やお礼のお手紙等があれば、講師に伝わる方法（点字、音声データ入りのCD等）にしてください。
<p>事前/事後 学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家の中にある点字を探してみてください。それがどんなところにあったか教えてください。（当日の状況によって探した結果を答えてもらう時間がない場合もあります） ・ 講師への質問を考えてみてください。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒自身の生活と比較し、自分事としてとらえてほしいです ・ 家の外に視点を変え、点字は意外と身近な場所にあることに気づく等、話し合っていたきたいです。

●盲導犬

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間は45分以上で計画してください。(歩行見学希望の場合は10分ほど見学に時間を使います) ・ 最大同時に3クラスまでで計画してください。 ・ 講師は、盲導犬ユーザー(視覚障がい者)1名、盲導犬1頭です。
<p>留意点</p>	<p>【教室実施前後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師が児童・生徒の反応を身近で感じたいため、児童・生徒の位置は大きく広げず、講師の近くに座ることができるようにしてください。 ・ 講師が学校に到着した際、学校の先生でお迎えをお願いします。また講義が終了したら、講師をタクシーまで案内してください。 ・ 講師の送迎時、タクシーの運転手が学校の門を開け閉めするため、ご了承ください。 ・ タクシーが停まる場所は、コーンを置く等して分かりやすくしてください。 <p>【教室実施時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容は、講師の講話です。児童・生徒が盲導犬を使って歩く体験はできません。 ・ 視覚障がい者の案内方法について考える際に、前へ出る児童・生徒をあらかじめ決めておいてください。 ・ 講師の安全確保のため、体育館の舞台等で使用している可動式の階段は使用しないでください。 ・ 決して盲導犬には触れないよう、児童・生徒への周知をお願いします。地域の中でも盲導犬に触れたり、餌を与えたりしないように伝えてください。 ・ 児童・生徒が講師に質問する場合、講師がその児童・生徒の方を向いて話を聞くことができるような工夫をするように伝えてください。(マイクを使う前に「はい」「ここです」「質問です」と言う、「〇組の〇〇です」と言う等。)
<p>物品</p>	<p>□机 □椅子 □マイク・机の上に置けるマイクスタンド(広い会場の場合)</p>
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望する講話内容をお伝えください。 ・ 歩行見学をされる場合は、具体的なコース内容を講師にお伝えください。 ・ 視覚障がい者の案内方法について考える際の必要な児童・生徒数をご確認ください。 ・ 実践教室終了後、児童・生徒から講師への質問やお礼のお手紙等があれば、講師に伝わる方法(点字、音声データ入りのCD等)にしてください。
<p>事前/事後 学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やさしさはほっとする」をご一読ください。 ・ 本やインターネットで盲導犬について調べ学習をしてください。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盲導犬を連れた視覚障がい者に関わらず、街の中で視覚障がい者をみかけたらどのように関わるとよいか考えてみましょう。 ・ 街の中にある、視覚障がい者のためにあるものは何か探してみましょう。

●アイマスク体験 ・ 自助具紹介

時間 人数	<ul style="list-style-type: none"> • 時間は、45分以上で計画してください。 • クラス単位での実施ではなく、学年全体で同時間・同場所で計画してください。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> • 講師は、仕事として視覚障がい者のガイドヘルプを行っている方です。 (視覚障がい者の方はお伺いしません。) • 体験は体育館もしくは、学年全員が入ることが可能な教室をご用意ください。
物品	<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 眼鏡ケース等 (眼鏡をつける児童・生徒のみ体験の際に眼鏡を外していただくため) ※アイマスクや視覚障がいの方が使用する自助具については講師が準備します。
講師 打合せ	<ul style="list-style-type: none"> • 体験内容を事前に講師と確認して下さい。 • 準備物品を確認してください。 • 児童・生徒に見せたい自助具の希望があればお伝えください。
事前/事後 学習	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自分たちの普段の生活 (お風呂・食事など) を思い出しながら、目が見えない人も同じように生活していることに気づいてみましょう。その中で、どんな工夫があるのかを考えてみましょう。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 街中で白杖などを使っている人を見かけたとき、どのように関わるとよいか考えてみましょう。困っているかどうかを自分で判断するのではなく、必要なときに安心して声をかけられる方法について話し合ってみましょう。

●手話体験

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 時間は、45分以上で計画してください。 ※45分で伝えられることは限りがあるため、90分での時間をお勧めします。 • 人数は、40人以内で計画してください。 • 講師は2名：きこえない（きこえにくい）講師1名・きこえる講師1名 • 複数クラスでの実施の場合、1クラスにつき各1講師で設定をします。
<p>留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 先生が児童・生徒に対して事前や授業中に手話や指文字を指導するのはご遠慮ください。 • 講師の手話に集中していただきたいため、授業中のメモはご遠慮ください。 • 教室後方で、きこえる講師がきこえない（きこえにくい）講師の手話を通訳して話しますが、手話に注目していただきたいため、児童・生徒は後ろのきこえる講師ではなく、前に立つきこえない講師の方を見るようにしてください。
<p>物品</p>	<p>□黒板（又はホワイトボード） □プロジェクター □延長コード □マグネット</p> <p>※学校によっては必要物品が異なる場合がある為、講師との打ち合わせ時にご確認ください。</p>
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 社協との対面打合せ終了後、調整票を用いて講師と打合せを実施し、同じ内容のものを2名の講師両者にFAXまたはメールで打ち合わせをしてください。 • 児童・生徒自身の名前を手話体験したい場合は、その旨をお伝えいただき、打ち合わせで確認して下さい。時間等の理由で対応が難しい場合は、打ち合わせで連絡します。 • 当日の机・椅子のセッティングをどのようにするか確認してください。（例：教室形式 椅子のみで手話が見える扇形配置）
<p>事前/事後 学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特に事前学習の必要はありません。事前知識のない状態で受けていただきたいです。どうしても場合は、講師への質問を考えてみてください。例）家族とのコミュニケーションはどうしている？等 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 聴覚障がいの方とかかわる時にするといい工夫を考えてみてください。

●書いて伝える体験（要約筆記・筆談）

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 時間は、45分以上で計画してください。 • 人数は、原則40人以内で計画してください。 • 講師は難聴者1名、要約筆記者2名の計3名です。
<p>留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 書画カメラなどを使用しますので、教室の前方に機材を置くスペースの確保をお願いします。（別紙「基本的な流れ」を参照） • 当日は準備のため、早めに来校します。当日使用する部屋の空き状況と、講師の当日の来校時間を確認してください。 • 当日はグループワークを行うため、可能であれば机が動かせる教室での実施をお願いします。
<p>物品</p>	<p>※講師との打ち合わせ時に必要物品の確認をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 書画カメラ（OHC）→ない場合：社協で貸出可能ですので、社協へお問合せください。 <input type="checkbox"/> プロジェクターとスクリーン（電子黒板） <input type="checkbox"/> パソコン
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 講師へFAXまたはメールで連絡をしてください。 • 希望する授業内容、知りたい内容を打ち合わせでお伝えください。 • 当日使用する書画カメラ（OHC）もしくはタブレット、電子黒板などの動作をご確認いただき、講師へ確認ができていることをお伝え下さい。 • 当日の講師の来校時間を確認してください。
<p>事前/事後 学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 音以外の方法で情報を受け取ることについて考えてみましょう。 例えば、テレビの音を消したとき、どのような情報があれば内容が分かるかに目を向けてみましょう。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「聞こえない」状況の中で、どのように情報を受け取ることができるのか考えてみましょう。 また、安心して過ごすためにはどのような工夫や周りの関わりがあるとよいか、話し合ってみましょう。

●発達障がいと自閉症についての理解

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 時間は、2時限枠（90分）以上で計画してください。 • 人数は、100人ぐらいまでで計画してください。 • 対象は小学校4年生以上です。 • 講師は自閉症児を子に持つお母さん方が3～4名です。
<p>留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 名簿には2名の講師名のみ記載ですが、当日は3～4名伺います。 • プロジェクターを使用しますので、スクリーン、カーテンのある部屋での実施をお願いします。（体育館や多目的室が理想です）プロジェクターを置く場所が教室前方に必要です。 • いくつかの体験について、事前に体験する児童・生徒を選んでいただくものがあります。 • 当日は準備のため、約1時間前に伺います。当日使用する部屋の空き状況と、講師の当日の来校時間を確認してください。
<p>物品</p>	<p>□マイク（ 本） □スピーカー □プロジェクター □スクリーン □パソコン用の机（ 個）と椅子（ 個） □長机（ 個） □ホワイトボード □棒磁石（ 本）□講師用の椅子（ 個） ※学校によっては必要物品が異なる場合がある為、講師との打ち合わせ時にご確認ください。</p>
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 必要物品を確認してください。 • 体験する児童・生徒をいくつかの体験で何名を選べばよいか確認してください。 • 当日の講師の来校時間を確認してください。
<p>事前/事後 学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「やさしさはほっとする」をご一読ください。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 講話の内容をふまえて、自閉症の方も同じ地域で暮らす一人として、どのような思いを持っているのか考えてみましょう。そのうえで、安心して過ごせる関わり方について考えてみましょう。

●ダウン症についての理解

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 時間は2時限枠（90分）で計画してください。 • 人数は、150人ぐらいまでで計画してください。 • 対象は小学5年生以上が理想です。 • 講師はダウン症児を子に持つお母さん方が5名ほど伺います。
<p>留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターを使用しますので、スクリーンやカーテンのある部屋での実施をお願いします。（体育館や多目的室、視聴覚室が理想です）事前にプロジェクターの写り具合やマイクの音量などをご確認下さい。 • 当日は準備のため、約1時間前に伺います。当日使用する部屋の空き状況と、講師の当日の来校時間を確認してください。また、実践教室の中で使用するプリントを講師が準備しますので、授業が始まる前に児童・生徒にお配りください。 • 当日は講師団体の他メンバーや保護者の方などの見学がある場合があります。またどなたでも見学可能なので、学校だより等でご周知していただいても構いません。
<p>物品</p>	<p> <input type="checkbox"/>マイク 2本（スピーカー） <input type="checkbox"/>マイクスタンド <input type="checkbox"/>プロジェクター <input type="checkbox"/>スクリーン <input type="checkbox"/>長机 3脚 <input type="checkbox"/>講師用のいす 6脚 </p> <p>※学校によっては必要物品が異なる場合がある為、講師との打ち合わせ時にご確認ください。</p>
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 必要物品を確認してください。 • 当日の講師の来校時間を確認してください。
<p>事前/事後 学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「やさしさはほっとする」をご一読ください。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 講話の内容をふまえて、ダウン症の方も同じ地域で暮らす一人として、どのような思いを持っているのか考えてみましょう。そのうえで、安心して過ごせる関わり方について考えてみましょう。

●高齢者擬似体験

<p>時間 人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間は、90分以上で計画してください。※90分未満の場合はご相談下さい。 ・ 人数は原則70人未満以内で計画してください。また人数が多い場合、複数日での実施や人数によってグループ分けをお願いする場合があります。時間を多めに確保する等、事前に人数の調整を求めることがあります。 ・ 実施学年や人数等にもよりますが、基本的に講師は「高齢者擬似体験インストラクター」（社協が養成した市民団体）が2～5名（児童・生徒の人数による）です。 <p>※打合せ当日、時間や人数等の再確認を実施内容に沿って行います（インストラクターより）</p>
<p>留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験場所はなるべく体育館で設定してください。加えて、なるべく冷暖房が調節できるようにしてください。体育館が難しい場合、広い部屋とそれ以外にもうひとつ部屋を確保してください。（2部屋の距離は近くにしてください） ・ 体験コースが他の体験や授業と重ならないように配慮下さい。 ・ 体験コースに階段を設定してください。（体験の都合上、片側通行で行います。学校が指導している形式とは逆側の通行になる場合、その旨を事前に児童へお伝えください。） ・ 体験は2人1組で行いますので、事前にペアを決め、予めペアで着席させてください。3人1組ができる場合はその児童・生徒を先頭に着席させてください。最後の児童・生徒にはビブスを着用させてください。※1 ・ 動きのある体験なので、児童・生徒には動きやすい服装で参加させてください。 ・ WBGT（暑さ指数）、積雪等の場合は延期、中止になる可能性がありますのでご了承ください。
<p>物品</p>	<p>※打合せの当日に数を確認します。</p> <p>【先生】</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者擬似体験セット（ 箱）</p> <p><input type="checkbox"/> 青色の折りたたみコンテナ（高齢者擬似体験で使用するグッズを収納している箱）</p> <p> ※上記物品を台車に乗せてください。連日体験を行う場合は、学校で備品の保管をお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/> ホワイトボード <input type="checkbox"/> 太めのホワイトボードマーカー（ 本）</p> <p><input type="checkbox"/> 長机（ 脚） <input type="checkbox"/> 椅子（ 脚） <input type="checkbox"/> カラーコーン（ 個）</p> <p><input type="checkbox"/> ボートボール台（ 台） <input type="checkbox"/> ビブス（ 枚）※1</p> <p><input type="checkbox"/> マイク（ 本）体育館や広い教室で行う場合に使用</p> <p>【児童・生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年共通 <input type="checkbox"/> フェイスタオル1枚（イヤーマフ装着時に使用） <input type="checkbox"/> 水筒 ・ 中学生以上 <input type="checkbox"/> バンダナ2枚（腕・脚のサポーター装着時に使用）
<p>講師 打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学校の先生に用意していただく備品、児童・生徒の持ちもの等を確認します。</u> ・ 社協職員と学校での事前打合せには擬似体験のインストラクターリーダーが同行します。打合せの際には会場の下見を行い、体験コース・駐車場の場所などの確認・説明を行います。 ・ 当日は準備のため、実施時間の約1時間前に講師が直接会場まで伺います。当日使用する部屋の空き状況の確認、体育館使用の場合はお手洗いの開錠をお願いします。 ・ 講師の当日の来校時間を確認してください。
<p>事前/事 後学習</p>	<p>《事前学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の周りの高齢者の素敵なところを探してみてください。 <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者擬似体験を踏まえて、高齢者に対してどのような声掛けをしたらよいか考えてみてください。

「障がいを理解するための実践教室」申込み期限

開 催 月	提出締切日(必着)*厳守
令和8年 6月	4月17日(金)
7月	5月8日(金)
8月	6月5日(金)
9月	7月3日(金)
10月	8月7日(金)
11月	9月4日(金)
12月	10月9日(金)
令和9年 1月	11月6日(金)
2月	12月4日(金)

「障がいを理解するための実践教室」のすすめ方

1 計 画

開催する学年・学級・希望日・時間・内容を計画します。

計画について悩み事がありましたら、計画段階から豊田市社会福祉協議会の職員が学校に出向き、相談に対応する事もできます。

2 申 請

開催日・実施内容が決まりましたら以下の URL または QR コードから申込みをしてください。



※豊田市社会福祉協議会 ぼらんていあ広場 HP より、実践教室のページ下部、要領・申込みの欄に同じ URL が載っています。

<https://x.gd/l4Jib>

(1日当たりの開催校は原則1校とし、先着で受付をします。)

※申込み期限がありますので、ご注意ください。

※申込みの仕方は「障がいを理解するための実践教室 手引書」をご確認下さい。

3 実施内容等の説明

豊田市社会福祉協議会の職員が学校に出向いて、学校の担当者に実施内容の流れ、講師の連絡先、講師との打合せ内容、必要備品等を説明します。

4 講師との打合せ

学校の担当者が講師へ連絡し、体験内容の打合せをしてください。

5 福祉に関する事前学習

学校は必要に応じ、福祉に関する事前学習を実施してください。

6 準 備

学校は講師との打合せにより準備する備品などがある場合は、ご用意ください。

7 実践教室の開催

- ・講師が集まることができる部屋（控え室）を用意してください。
 - ・実践教室開始前までに講師を控え室から各会場へ学校側で案内してください。
 - ・講師の実費弁償費・タクシー代は、豊田市社会福祉協議会がお支払いします。
- そのほか、授業で必要な資料は学校でご用意ください。

8 報 告

実践教室開催後、1ヶ月以内に以下の URL または QR コードから回答して下さい。



※豊田市社会福祉協議会 ぼらんていあ広場 HP より、実践教室のページ下部、報告書の欄に同じ URL が載っています。

<https://x.gd/i64lY>

※1科目につき、1回、ご回答下さい。

9 問合せ

ご不明な点や実施についての相談などは、豊田市社会福祉協議会（「障がいを理解するための実践教室 実施要領」10 問合せ・申込み）までお問合せください。

「障がい理解のための実践教室」申し込み・実施報告書の手引書

平素は本会事業にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本事業は今年度から ICT を活用した申し込み方法に変更させていただくことになりましたので、以下の手順に沿って申し込みいただくようお願いいたします。

今後は電話・FAX 等での受付は行いませんので、ご理解のほどよろしくをお願いいたします。

【申し込み】

1 障がい理解のための実践教室 申し込みフォーム

URL <https://x.gd/l4Jib>



予約状況がカレンダーに表記されます。空き状況を確認してください。

実施期間：6月～2月 ※申込期限は実施要領をご確認ください。

申込対応：原則1日先着1校 ※申込日が重なった場合は先着とさせていただきます。

障がい理解のための実践教室 申し込みフォーム

実践教室の予約状況がカレンダーに表記されています。予約状況を確認し、申し込みは[こちら](#)から行ってください。

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5 13:30-15:00 車いす体験	6	7	8
9	10	11				
16	17	18				

空き状況を確認してください。
※受理された内容がカレンダーに表示されます。

2 ログインパスワード

ユーザー名：toyota-user

パスワード：toyota-fukusi

ユーザー名・パスワードは豊田市内の小・中学校、高等学校にしか公開していませんので、取り扱いにはご注意ください。

ログイン

<https://cdf8df9c.form.kintoneapp.com>

ユーザー名

パスワード

ログイン キャンセル

3 申し込み

下記のフォームからお申し込みください。



申請されたい福祉教室の実施内容を選択してください。

選択してください

✓ 確認

表示された内容を順に入力してください。

・実施内容

実施したい科目を選択してください。

※申し込みは1回1科目となりますので、複数科目申し込みされる際は、同じ作業を複数回行ってください。

※ポッチャ体験は当年度に車いす体験を実施した学級のみ申し込みが可能。

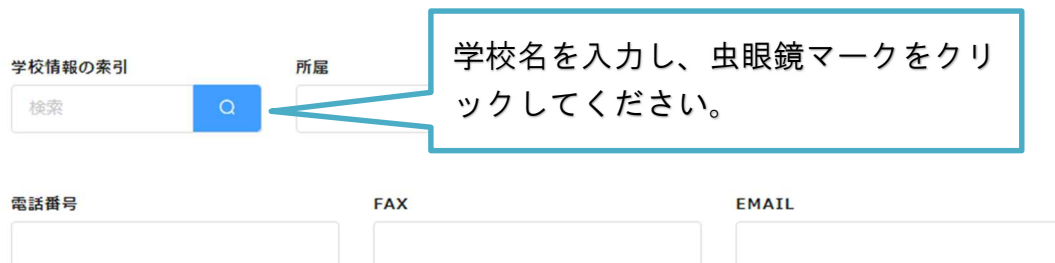
・開始日時・終了日時

カレンダーの空いていた日で申し込みしたい時間を入力してください。

・学校情報の索引

学校名を入力してください。

所属・電話番号・FAX・E MAIL について、HP 上に公開されている情報が入力されます。



学校情報の索引 所属

検索

学校名を入力し、虫眼鏡マークをクリックしてください。

電話番号 FAX EMAIL

・担当者

担当する教員名を入力してください。本会から担当者へ連絡します。

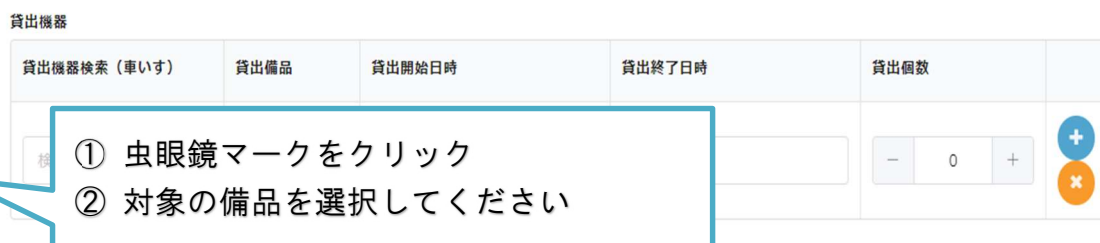
・参加者情報

学年・組・参加者人数・担当教員を入力してください。

・貸出機器（車いす体験・点字体験・高齢者擬似体験・ポッチャ体験のみ）

虫眼鏡マークをクリックし、必要な備品を選択してください。選択後、体験に必要な備品が選択できます。

車いす体験の場合：車いす・段差板・軽トラックが選択できます。



貸出機器

貸出機器検索（車いす）	貸出備品	貸出開始日時	貸出終了日時	貸出個数
検索				- 0 +

① 虫眼鏡マークをクリック
② 対象の備品を選択してください

・実施場所（晴天）・（雨天）

・実践教室前後の取組内容

児童・生徒の1年間の学びの中における実践教室の位置づけについて、どのような流れで実施するかご入力をお願いいたします。

学びへのつながりを意識した取組とするため、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

・実践教室の趣旨・目的

参加者（児童・生徒）に何を学ばせたいのかを明記してください。

・確認

確認ボタンをクリック後に入力した内容が一覧で表示されます。

※お申込された内容は後で確認できません。確認ボタンクリック後、回答確認画面でお申し込みの内容が確認できますので、お申し込みの内容を印刷してから回答してください。

回答した内容は仮予約となります。仮予約中はカレンダーに表記されませんので、ご承知おき下さい。また、申し込みを再度される際は、申し込みフォームから再度入力してください。

申し込まいただきました内容について、講師調整が済みましたら、本会から連絡いたします。

下記のフォームからお申し込みください。



申請ありがとうございます。申請された内容は仮予約となります。講師調整等にお時間がかかりますのでご了承ください。講師調整が済みましたら、本会から連絡いたします。 続いて申込をされる場合は、再度申込フォームよりお申し込みください。

【実施報告書】

1 障がいを理解するための実践教室 実施報告書

URL <https://x.gd/i64IY>



実施報告書は実施日から1か月以内に回答してください。

障がいを理解するための実践教室 実施報告書

学校名

実施日

担当者

実施科目

選択してください

その他

(1) 実践教室を取り組んだうえで、課題と感ずることがあればご記入ください。

2 報告内容

表示された内容を順に入力してください。

※報告の内容は、1科目につき1回ご回答下さい。

